

東広島市メールモニター「のんモニ」アンケート集計結果

アンケート	平成30年度第10回
実施期間	平成31年1月21日～平成31年1月30日
テーマ	応急手当と災害出動について
担当課	消防局警防課
登録者数	197人
回答者数(回答率)	81人(41.1%)

担当課のまとめ

●アンケートの目的

救命率の向上のため、応急手当(心肺蘇生法)の講習及びAEDの認知度や、救急車を適正に利用してもらうための救急受診アプリ等の認知度の把握を目的として、アンケートを実施します。

●アンケート結果を受けて

今回のアンケートにより、6割以上の方が応急手当講習を受講したことがある一方で、「以前受講したが忘れてしまった」、「講習は受けていてもいざという時に対応できるかわからない」というご意見もいただきました。

心肺蘇生法の重要性和PA連携(消防車と救急車が連携して救急活動を行うこと)については、少しずつ認知されてきているように感じますが、しかし、一方で救急車の適正利用を呼び掛けていく中で、救急受診アプリ「Q助」の普及や患者等搬送事業者の認知度はきわめて低く、より積極的な広報が必要であると感じました。

●今後の施策について

応急手当講習会の開催と心肺蘇生法の重要性は認知されてきていますが、心肺蘇生法は、定期的に見直され、手順や方法が変わるので1度だけの受講だけでなく、今後も、定期的な講習会の受講等を引き続き呼びかけていきます。

救急件数は年々増加しているため救急車の適正利用を呼び掛けていく必要があり、救急受診アプリ「Q助」の普及や患者等搬送事業の認知度を高め、使用してもらうことが必要であるため、講習会やイベント等で広報に努めていきます。

●最後に

貴重なご意見ありがとうございました。

消防局では、今後も定期的な救命講習を開催していきます。救命講習の受講申し込みは、最寄りの消防署にて受け付けています。日程については、東広島市の広報紙やホームページ等に掲載しています。

いざという時に大切な人の命を守るためには、日ごろからの備えが重要です。このアンケートをきっかけとして、今一度応急手当について学んでみませんか。

○応急手当講習会のご案内:

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/1/12633.html>

【問い合わせ】

東広島市消防局 警防課 TEL:082-422-5648 FAX:082-422-7248



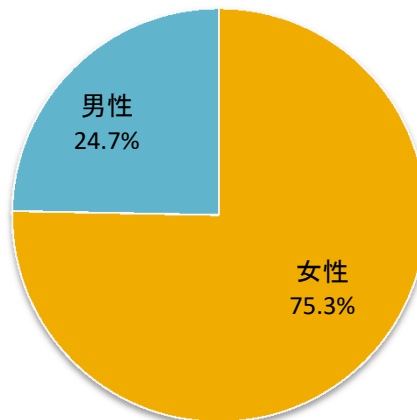
●回答集計

※端数処理のため、比率の合計が100%にならない場合があります。

【回答者の属性】

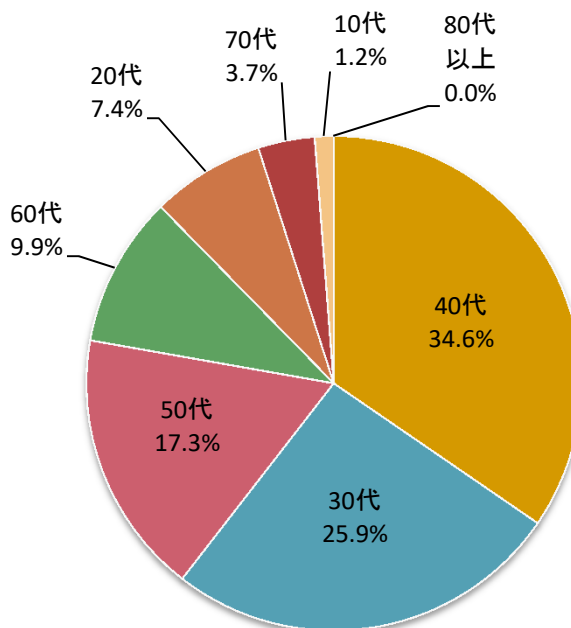
あなたの性別を教えてください。

順位	回答	回答数	%
1	女性	61	75.3%
2	男性	20	24.7%
	合計	81	100.0%



あなたの年代を教えてください。

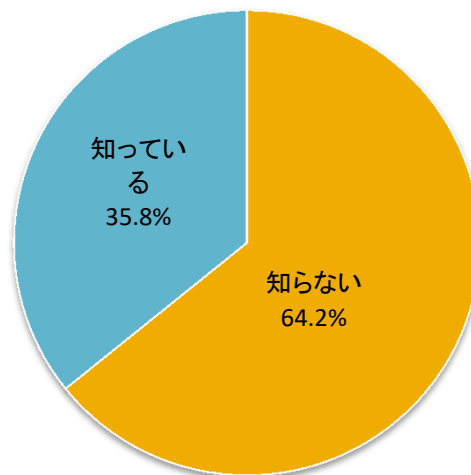
順位	回答	回答数	%
1	40代	28	34.6%
2	30代	21	25.9%
3	50代	14	17.3%
4	60代	8	9.9%
5	20代	6	7.4%
6	70代	3	3.7%
7	10代	1	1.2%
8	80代以上	0	0.0%
	合計	81	100.0%



Q1.消防局では、毎月1回応急手当(心肺蘇生法)講習を定期開催していることを知っていますか？

URL (<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/1/12633.html>)

1	知らない	52	64.2%
2	知っている	29	35.8%
	合計	81	100.0%

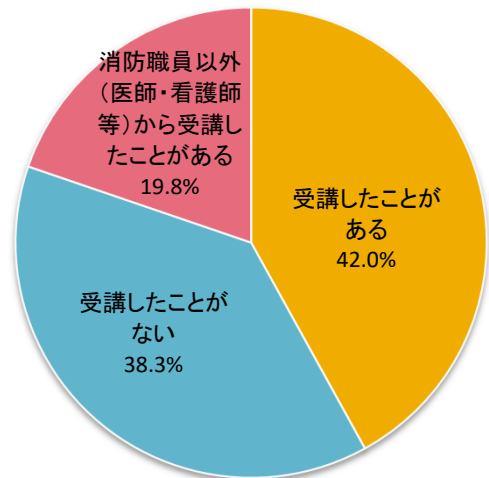


講習会の様子

Q2.あなたは消防職員から応急手当(心肺蘇生法)講習を受講したことがありますか？

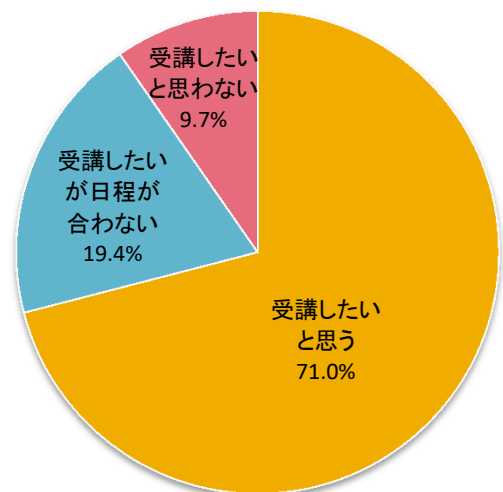
心肺蘇生法とは、呼吸が止まり、心臓も動いていないと思われる人を救命するために行うもので、胸骨圧迫と人工呼吸を行います。

順位	回答	回答数	%
1	受講したことがある(→Q4へ)	34	42.0%
2	受講したことがない	31	38.3%
3	消防職員以外(医師・看護師等)から受講したことがある(→Q4へ)	16	19.8%
	合計	81	100.0%



Q3.(Q2で「受講したことがない」の方のみ)機会があれば、受講してみたいと思いますか？

順位	回答	回答数	%
1	受講したいと思う	22	71.0%
2	受講したいが日程が合わない	6	19.4%
3	受講したいと思わない	3	9.7%
	合計	31	100.0%



【受講したいと思わない理由】

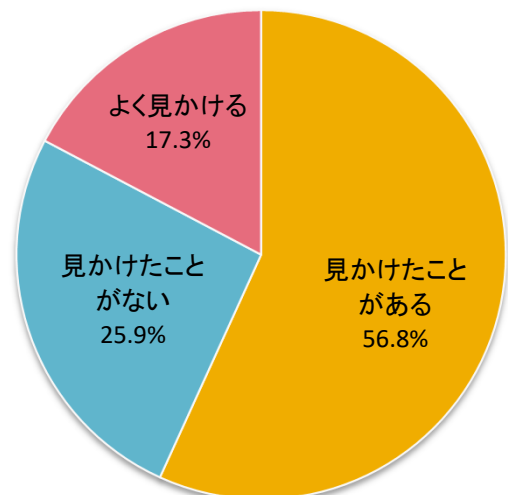
- ・必要性を感じない
- ・体力的に不可能と思うから
- ・面倒だから

Q4.この表示を見かけたことはありますか？



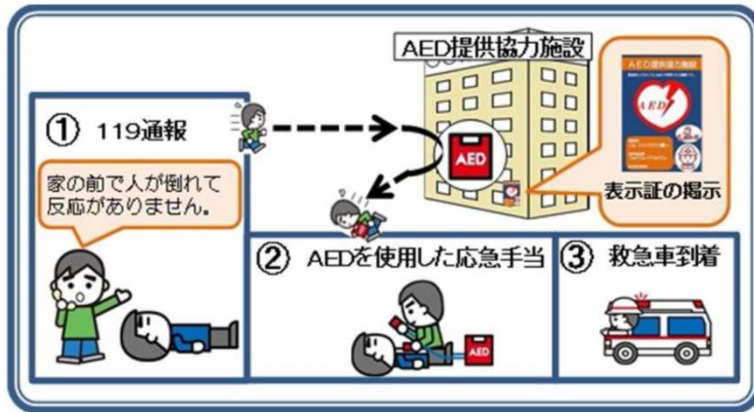
AED提供協力施設の表示証

順位	回答	回答数	%
1	見かけたことがある	46	56.8%
2	見かけたことがない	21	25.9%
3	よく見かける	14	17.3%
	合計	81	100.0%



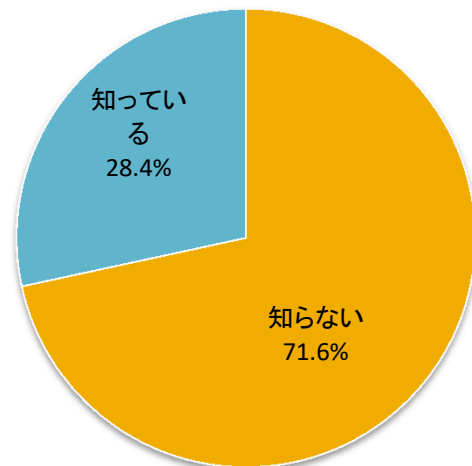
Q5.AED提供協力施設公表制度があることを知っていますか？

東広島市消防局管内(東広島市、竹原市、大崎上島町)のAED設置施設のうち、施設の近くで心肺蘇生を必要とする傷病者が発生した場合に、AEDを応急手当に提供していただける施設を東広島市消防局が認定し、施設名や住所、提供時間などの一覧表及び電子地図を市ホームページ等で公表する制度です。
 URL (<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/3/3101.html>)



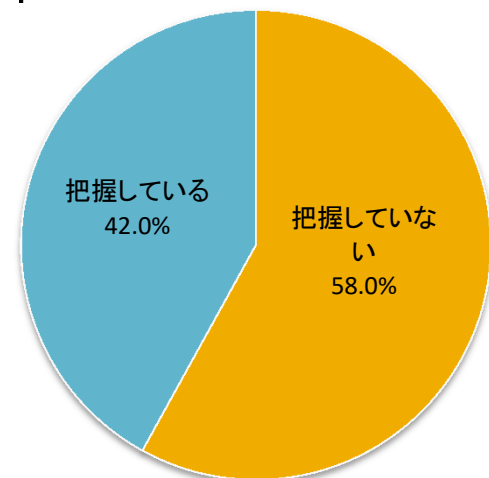
AED提供協力施設のAEDを利用するイメージ図

順位	回答	回答数	%
1	知らない	58	71.6%
2	知っている	23	28.4%
	合計	81	100.0%



Q6. 自宅や職場の近くでAEDの設置場所を把握していますか？

順位	回答	回答数	%
1	把握していない	47	58.0%
2	把握している	34	42.0%
	合計	81	100.0%

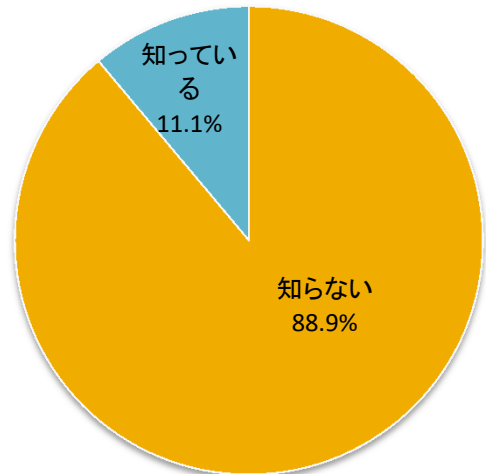


Q7.あなたは総務省消防庁が推進する全国版救急受診アプリ「Q助」を知っていますか？

症状の緊急度を素早く判定し、救急車を呼ぶ目安にできるアプリです。該当する症状などを画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。（「今すぐ救急車を呼びましょう」、「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」、「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」又は「引き続き、注意して様子を見てください」など）

URL(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html)

順位	回答	回答数	%
1	知らない(→Q9へ)	72	88.9%
2	知っている	9	11.1%
	合計	81	100.0%

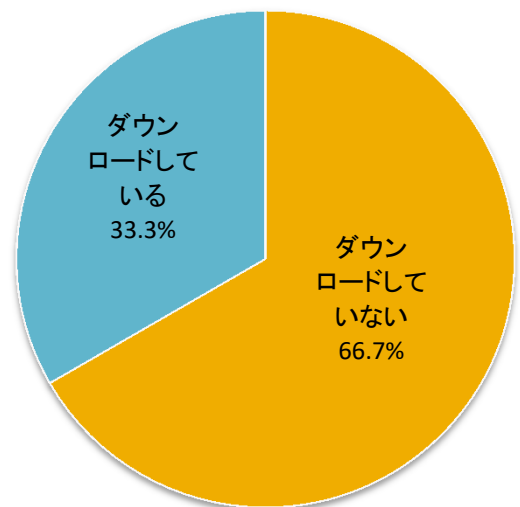


全国版救急受診アプリ「Q助」



Q8.(Q7で「知っている」の方のみ)「Q助」をダウンロードしていますか？

順位	回答	回答数	%
1	ダウンロードしていない	6	66.7%
2	ダウンロードしている	3	33.3%
	合計	9	100.0%



全国版救急受診アプリ
Q助
さっさと助け

症状の緊急度を素早く判定!!!
救急車を呼ぶ目安に!!!

消防庁では、住民の緊急度判定を支援し、利用しやすい緊急度判定アプリの開発を奨励するため、緊急度判定プロセス（緊急度判定）をもとに全国版救急受診アプリ（Q助）を開発しました。

スマートフォン用アプリ

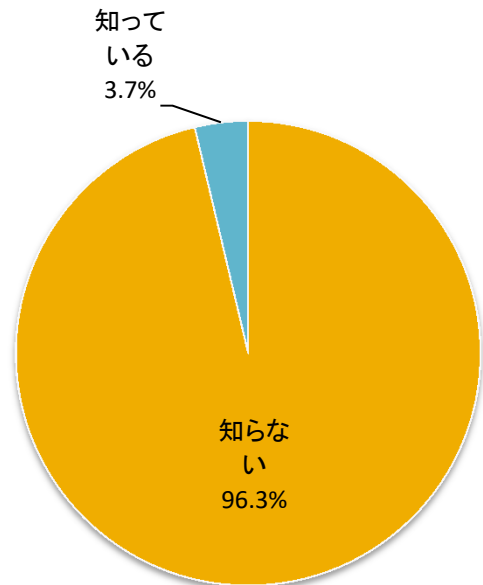
総務省消防庁「Q助」案内サイト
http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/medList9_6/kyukyu_app.html

総務省消防庁

Q9.患者等搬送事業を知っていますか？

緊急性の低い方の入退院や通院、転院、社会福祉施設等への送迎時などの移動手段を提供するための、民間の認定事業者による患者等の搬送事業。認定事業者数6者(平成30年10月26日現在)
 URL(<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/3/2806.html>)

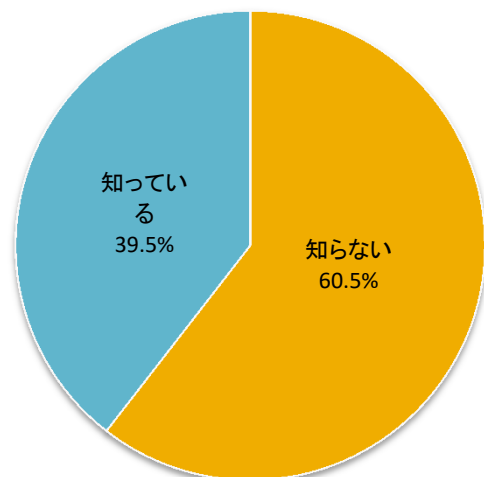
順位	回答	回答数	%
1	知らない	78	96.3%
2	知っている	3	3.7%
	合計	81	100.0%



Q10.救急要請したときに、消防車も出動する場合があることを知っていますか？

消防車(Pumper)と救急車(Ambulance)が連携して救急活動を行うことで、それぞれの頭文字をとり、PA連携(ピーエーれんけい)といいます。東広島市消防局では、一刻も早い救命処置が必要な場合や建物などから傷病者の搬出が困難な場合など、救急隊だけでは活動が困難な場合に備えて、救急車と同時に消防車も出動し、連携して救急活動にあたっています。
 URL(<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/3/3661.html>)

順位	回答	回答数	%
1	知らない	49	60.5%
2	知っている	32	39.5%
	合計	81	100.0%



Q11.その他、アンケートの感想やご意見等がありましたら、記入してください。

【主な内容】

- ・今回知らないことが多く、ホームページを見るだけでも、大変参考になった。いざという時に役立てるように、日頃から意識できたら良いと感じました。
- ・知らない事が多いので、講習を受けてみたいと思いました。
- ・私はこれまでに数回、応急手当について簡単な講習を受けたことがあります。先日、たまたま人傷の事故現場に遭遇してしまいましたが過去に習った出血のさいの止血点のことなど、全く思い出せず何もできませんでした。幸いけが人の方は意識があり、AEDは必要なかったのですが存在についてもすっかり忘れていました。過去に習ったからといって、数年たって忘れてしまっただけは何も意味がないと痛感しました。最近は様々なイベントで、消防の方の指導で心肺蘇生法を体験できるブースなどを見かけます。今回の自分の事故現場の体験で、1度体験すればそれで終わりではなく、いざという時のために何度でも受講した方がいいと思うようになりました。開催される講習会では、経験者も定期的に繰り返し受講したり、参加しようと思うような広報の仕方をしたらいいのではないかと思います。
- ・応急手当講習会の開催告知を見るたびに、「行きたい」と思うのですが、申し込めずにいます。参加者は多いのか？とか色々様子がわからなくて躊躇してしまいます。夫婦で参加できたら良いなと思っています。
- ・知ろうという気持ちがあっても、AEDの設置場所・使い方など、やはり門戸が狭い感じがします。幼稚園・小学校・中学校の参観日などの行事で広めてみてはどうでしょうか？

行事の日に講習等の依頼をしていただければ、防火講話や救急講習は開催可能ですので、ご相談ください。



- ・緊急時、AEDがどこにあるかを把握していても訓練とその時とではいくら講習会などに参加してるとは言え、実際の前に突然、そのような患者さんがいても対応できるかはわからないと思うのですが。
- ・AEDは職場にも設置してあるし、心肺蘇生の応急手当も学んだことがあるが、いざそういう状況に遭遇した時に自分がどれだけ動けるのか自信がない。繰り返し学び続けなければならないと思う。
- ・「AED提供協力施設 一覧表」ですが、自分が今いる場所からどこが近いのか一目でわかるように、まずは地図を掲載し、そのあとに住所・対応時間等の詳細を記載してはいかがでしょうか？

東広島市が作成している「ひがしひろしまっぷ」でAEDの登録しているポイントを画像で確認することができます。



- ・救急車をお願いしたことがあります。
 - 1) 母、めまいで半日以上動けない、一寸迷いました。こんなことでお願いしてもいいのでしょうかと確認しました。
 - 2) 父、脳梗塞、お願いしたときは、もはやダメかなあと言う感じでしたがお陰様で命拾いました。
 - 3) お隣さんの怪我、家の方が不在で代わりに電話しましたが、住所はそれなりに言えたが、年齢？不明、怪我の状況もよくわからない？電話をかけるとき、その度々で状況は違うのですが、落ち着いて的確に話すことの難しさをつくづく感じました。電話番号で地域がわかると言うことも知りました。AEDの講習はずいぶん前に受けましたが、この性格から中々出来そうにありません。どのようにすれば克服出来るでしょうか？

定期的に講習会を受講されるなどしていただければと思います。



- ・なかなかAEDに触れる機会はない。職場など、団体で受講出来れば多少でも、機会は増えるかも。
- ・近くにAEDがある所がないので、集会所などにも置いたらよいと思う。

- AEDが具体的にどこにあるかなど知らないのを知る必要があるなと思いました。
- AEDもいざという時に対応できたらいいとは思いますが、普段から使い慣れていないと、使い方がわかって使うのはちょっと怖いなと思う。
救急車とか消防車もLINEとかアプリの位置情報で呼べたら便利ですね。
- 以前AEDの講習を職場で受けたことがあります、あまり覚えていないので今回改めて使い方などを再確認しようと思いました。
新消防署が移転してから行ったことがないので一度見学に行ってみたいです。
- AEDの設置場所など、普段から気をつけて確認しておくことの大切さに気づきました。
- 地震、大雨などの災害が多発しており、緊急時の対応について知らなければならないと思っていますが、先送りになっています。
各自治会への情報展開、講習会の実施案内などがあれば、肩押しになると思います。
- 非常に重要な活動ですね。このアンケートを通して、必要な情報を得ることができました。広く市民に知ってもらうための広報をもっとしていただきたいです。学校や住民自治協議会を通して情報を周知してもらえると良いのではないのでしょうか。



定期的な講習会であれば、東広島市の広報紙やホームページ等に掲載しています。もし、学校や住民自治協議会等で受講希望の方を集めて頂けるようでしたら、特別に講習を開催することは可能ですので、消防局にご相談ください。

- 今回のアンケートは、生活に密着した大事なことなのに知らないことが多く驚いた。
もっと多くの人が目にする手段で周知してほしい。
- 「Q助」のアプリは以前どこかで聞いて気になったので、ダウンロードしてみようと思いました。
AED提供協力施設公表制度は知らなかったです。さっそくHPを見に行き、職場や自宅の近くのAEDを見てみました。すごく便利ですね。
- 消防局で毎月応急手当講習が行われているのを初めて知りました。運転免許証を取得する際に一度だけ講習を受けましたがもう忘れてしまっているので参加してみたいと思いました。同時に活動を広めていきたいなとも思いました。
- 知らなかったことが多かったです。AED設置場所については把握しておこうと思います。
患者等搬送事業について普及したら救急車を適切に利用することにつながるのかなと感じました。
- 知っているようで案外解っていない事に今回気が付き反省しています。
すでに後期高齢者に主人がなっているので、何時どんな事で皆様にお世話にならないとも限らず、又、意外な所で人様のお役に立てるやもしれないので、年だからと諦めず学んでおく必要を感じたし、普段からそのような話を話題として話しておく必要があると感じました。
- 今回のアンケートの内容は、今まで知らなかったことがほとんどで、大変勉強になりました。
- そういう場面に出くわさないとなかなかその重要性を身に染みて理解する事は無いなと思います。ただ、そういう場면을想像して、その時自分に何が出来るだろうか、自分の大事な人、身近な人を助けられなかったらつらいなど、考える事で、機会がある時は学ぼうと思っている現状です。
- 志和インター付近は日常的に渋滞が多く、緊急時が不安。
- 救急車や消防車のサイレンの音はよく聞きますが、AEDのマークもチラッと見かけるだけで、消防署のことを真剣に考えたことがありませんでした。知らないことも多くて恥ずかしく思っております。
私自身も年々歳を重ねて参りましたので、色々知る良い機会になったと思います。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

